

**別表1 端末利用者が施す措置の一覧表**

※表内には端末利用者に推奨する措置を記述。(Op)は、条件によっては、影響等を十分考慮したうえで取り得る措置の一つを記述。

項目	気象庁より端末利用者に推奨される措置					当社の対応状況
	A 機械・館内放送設備等の自動制御 B オペレーターを介した機械・館内放送設備等の制御		C 端末の報知による人の危険回避			
	機械等の制御	館内放送		警報相当の強い揺れの 予想のみ報知	その他の緊急地震速報 (業)の報知	
不特定多数向けの警報 に整合した放送		その他				
気象庁が急地震速報(予報)を 発表してから端末が報知 または制御を開始するまで に要する時間	1秒以内	1秒以内	1秒以内	1秒以内	1秒以内	端末が、緊急地震速報(業)を受信して から制御を開始するのに要する時間は 1.0秒以内。
気象庁から端末まで、配信 をときれさせないような対策	十分とられているもの	十分とられているもの	十分とられているもの	十分とられているもの	十分とられているもの	緊急地震速報(予報)を利用する弊社 サーバが故障した場合、ホットスタバイの予 備機に自動切替を行う。
時刻合わせ	±1秒以内	±1秒以内	±1秒以内	±1秒以内	±1秒以内	弊社サーバは、NTPサーバと時刻同期を行 う。
配信・許可事業者によるサ ポート	充実しているもの	充実しているもの	充実しているもの	充実しているもの	充実しているもの	弊社ではお客様とのご契約内容により 弊社コールセンターでの対応が可能。
耐震固定等地震の揺れへの 対策	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	端末は取付金具で固定する。 弊社サーバは、免震・耐震構造の建物 内に設置している。
無停電化	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	弊社サーバは、バックアップ用電源と、自 家発電機を備えている。端末はお客様 にて無停電電源を準備して頂くことで 可能。
端末の冗長化	推奨	推奨	推奨	オプション	オプション	端末の冗長化は御座いませんが、ご契 約内容によって端末の通信状態を監視 することが可能。
回 線	常時接続できる回線	必須	必須	必須	必須	気象業務支援センターとサーバー間は 専用回線。サーバーと受信端末は常時 接続回線を利用。
	専用線等信頼性の高い回 線	推奨	推奨	推奨	オプション	
サーバー-端末間の物理回線 の冗長化	推奨	推奨	推奨	オプション	オプション	配信経路のうち、弊社サーバと端末の経 路についての冗長化は、弊社とのご契 約以外にお客様側で構築していただく ことで可能。
予想した猶予時間	猶予時間がない場合でも利 用	猶予時間がない場合でも 利用 猶予時間+10秒程度は 安全確保を促す放送を 継続。	猶予時間がない場合でも利 用 猶予時間+10秒程度は安全 確保を促す放送を継続	猶予時間がない場合でも 利用 猶予時間+10秒程度は 安全確保を促す放送を 継続。	猶予時間がない場合でも 利用 猶予時間+10秒程度は 安全確保を促す放送を 継続。	猶予時間がない場合でも利用。 猶予時間+10秒程度は安全確保を促す 放送を継続。 「揺れが収まるまで身を守ってくださ い」と報知する。

項目	気象庁より端末利用者に推奨される措置					当社の対応状況
	A 機械・館内放送設備等の自動制御 B オペレーターを介した機械・館内放送設備等の制御		C 端末の報知による人の危険回避			
	機械等の制御	館内放送		警報相当の強い揺れの 予想のみ報知	その他の緊急地震速報 (業)の報知	
不特定多数向けの警報 に整合した放送		その他				
予想した震度	制御先の強度等に応じた設定震度	警報に整合	施設の安全性による設定震度	警報に整合	端末利用者の必要性に応じた設定震度	制御先強度に合わせて任意に設定が可能。利用者の必要性に応じた設定震度も可能。
精度情報 (凡例) 100ガル:100ガル超え緊急地震速報 1点:1観測点のデータに基づく緊急地震速報(業) 複数点:複数観測点のデータに基づく緊急地震速報(業)	複数点を利用 (op)100ガル、1点等は制御の準備に利用 (op)迅速な制御を行う際には、100ガル、1点も利用	警報に整合 100ガル、1点等は放送の準備に利用	複数点を利用 100ガル、1点等は放送の準備に利用	警報に整合	複数点を利用	複数点観測データ、100ガル超え観測データ、1点観測データがもとなる全ての緊急地震速報(予報)を利用する。 端末は受信した緊急地震速報(業)で設定値を越える予想震度の場合、報知する。 ただし、端末には緊急地震速報の第1報を無視する設定があるため、100ガル超え緊急地震速報が第1報として受信した場合はデータを破棄し報知しない。 また、マグニチュードが推定できていないことから、マグニチュードが空欄のデータを受信することになると考えられる。この場合、予想震度の演算ができないため報知しない。
深発地震についての緊急地震速報(業)	利用しない (op)東日本太平洋側では利用	警報に整合	利用しない (op)東日本太平洋側では利用	警報に整合	利用しない (op)東日本太平洋側では利用	端末は受信した緊急地震速報(業)で設定値を越える予想震度の場合、報知する。
放送・報知内容	—	NHKチャイム音の後に「地震です。落ち着いて身を守ってください。」を利用 放送した後は、実際の震度を放送	NHKチャイム音の後に「地震です。落ち着いて身を守ってください。」を利用 放送した後は、実際の震度を放送 (op)騒音等で放送が聞き取りにくい条件下では、認識しやすい内容で放送	NHKチャイム音 具体的な予想震度、猶予時間は報知しない	NHKチャイム音 具体的な予想震度、猶予時間は報知しない  (op)誤差について理解していれば、具体的な予想震度、猶予時間を報知	以下の2種類から選択できる ①報知音後、「地震、震度〇〇、〇〇秒後」、地震到達時刻が10秒以内になるとカウントダウン。 ②報知音後、「地震がきます、〇〇秒後、震度〇〇」、地震到達時刻が10秒以内になると「すぐ地震がきます」

項目	気象庁より端末利用者に推奨される措置					当社の対応状況
	A 機械・館内放送設備等の自動制御 B オペレーターを介した機械・館内放送設備等の制御		C 端末の報知による人の危険回避			
	機械等の制御	館内放送		警報相当の強い揺れの 予想のみ報知	その他の緊急地震速報 (業)の報知	
		不特定多数向けの警報 に整合した放送	その他			
緊急地震速報(業)で制御、 放送、報知を行った後に同 一地震または別の地震につ いて提供される緊急地震速 報(業)	予想した震度によって異なる 制御内容があり、制御開 始後であっても制御内容 の変更が許される制御対象 の場合で、かつ、予想した震 度が大きくなる場合には制 御内容を変更。想した震度 が小さくなる場合の変更には 十分な留意が必要。震度 の違いによって制御の内容 を変えていない場合や制御 開始後は制御内容の変更が 許されない制御対象の場合 では用いない	放送内容は変更しない	予想した震度によって放送 を変えており、放送対象者 が放送の変更に対応が可能 な場合で、かつ、放送後の 予想した震度が大きくなる 場合には震度に応じた内容 を放送。予想した震度が小 さくなる場合の変更には十 分な留意が必要震度の違い によって放送の内容を変えて いない場合や放送対象者 が放送の変更に対応できな い場合では用いない	報知内容は変更しない	予想した震度または猶 予時間を報知している 場合は予想した震度が 大きくなる場合または 猶予時間が短くなる場 合に報知内容を変更	端末による動作(端末本体、インター連 動、放送設備連動、エレベータ連動、オート A連動)は、一度動作し、続けて別の緊 急地震速報(業)による震度の上下が あったとしても、その動作の変更は無 い。
キャンセル報	制御やその準備に利用され た緊急地震速報に対して提 供された場合は解除や解除 の判断に利用	放送やその準備に利用 された緊急地震速報に対 して提供された場合は 解除や解除の判断に 利用	放送やその準備に利用され た緊急地震速報に対 して提供された場合は 解除や解除の判断に 利用	報知した緊急地震速報 に対して提供された場 合は報知	報知した緊急地震速報 に対して提供された場 合は報知	端末は報知を行ったものに対するキャン セル報を受信した場合に、端末による 動作(端末本体、インター連動、放送設 備連動、エレベータ連動、オートA連動)を キャンセルし、誤報であったことを通知 (端末本体、インター連動)する。
試験	テスト報を受けて行う試験 を実施。ただし、普段はテ スト報により動作や制御をし ない設定とすること	テスト報を受けて行う 試験を実施。ただし、 普段はテスト報により 動作や放送をしない設 定とすること	テスト報を受けて行う試験 を実施。ただし、普段はテ スト報により動作や放送をし ない設定とすること	テスト報を受けて行う 試験を実施。ただし、 普段はテスト報により 動作や報知をしない設 定とすること	テスト報を受けて行う 試験を実施。ただし、 普段はテスト報により 動作や報知をしない設 定とすること	テスト報を利用しない。 利用開始時に、サーバから動作確認 用の緊急地震速報(業)を配信し、動作 確認を行うことができる。 また、端末の機能のうち、「テスト モード」により端末単独での動作確認 ができる。
訓練	端末が持つ訓練機能または 訓練報を端末が受けて行う 訓練を実施。ただし、普段は訓練報により 動作や制御をしない設定と すること(Bに限る)	端末が持つ訓練機能ま たは訓練報を端末が受 けて行う訓練を実施。 ただし、普段は訓練報 により動作や放送をし ない設定とすること	端末が持つ訓練機能また は訓練報を端末が受けて 行う訓練を実施。た だし、普段は訓練報に より動作や放送をしない 設定とすること	端末が持つ訓練機能ま たは訓練報を端末が受 けて行う訓練を実施。 ただし、普段は訓練報 により動作や放送をし ない設定とすること	端末が持つ訓練機能ま たは訓練報を端末が受 けて行う訓練を実施。 ただし、普段は訓練報 により動作や放送をし ない設定とすること	訓練報を利用しない。 連動する「インターホン」「放送設 備」より訓練であることを伝え、その 後弊社ではお客様とのご契約内容に よって、サーバ側で緊急地震速報(業) を配信する訓練方法がある。 また、端末の機能である「テストモ ード」によりオペレータや端末利用者が 訓練を行う方法がある。
配信・許可事業者へ の連絡	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	弊社ではお客様とのご契約内容によ り、弊社コールセンターでの対応が可 能。